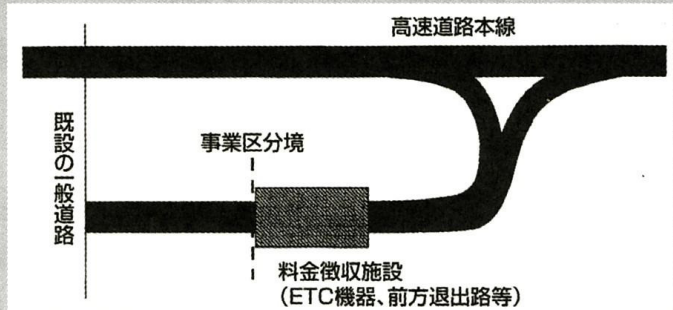


# Q 今後、綾瀬 IC はどうなるのか？

## スマート IC [高速道路利便増進事業] 制度実施要綱

(2) 高速道路の区域内の道路本体及び道路付属物等の整備及び管理は、原則として会社が行うものとし、整備後に資産及び債務を日本高速道路保有・債務返済機構、(以下「機構」という。)に引き渡すものとする。



※「会社」とは、旧道路公団のこと

### 100万円(家計)政治活動!

活動資金残高-39万円 (H18年12月~H19年3月予算)

前月出し 260**** 18-12-12	■支出	井手たく新聞印刷費・配布費 (藤沢市全世帯分) 222万円
01300611 1330896 211	■収入	カンパ・生活費 (100万円)、政務調査費 183万円
16353 **** 219		→39万円赤字 (残高明細書)



民主党公認

井手たくや 37歳

### 本当の第3セクターの改革方法は？

現職の県職員が天下りとは別に3セクへ派遣されていること、又3セクの理事を専務(2人)もしくは兼務(52人)していること、又、県会議員が3セクの評議員を兼務(62人)していることは、あまり知られていない「癒着」の根源で、即廃止すべきです。これにより天下りもなくなります。毎年1000億円ずつ県借金が減る状況下で3セクを過剰保護する余裕は県にはありません。

### 社会の風を教育現場へ!

市町村立の学校の先生は皆さん県の職員です。したがって学校再建の鍵は県が握っています。閉塞を打開すべく民間校長登用、民間からの教職員採用を提案します。

●井手たくやの考え方の詳細はHPで!  
<http://www.shonanfujisawa.com/~taku-ide>

■井手たくやの略歴  
昭和45年1月8日生まれ37歳。 家族構成 妻、息子、娘、藤沢めだか。  
国立長崎大学工学部卒、平成4年電力会社入社、平成11年から市議会議員2期



平成19年4月選挙公報

3年にわたり、井手が県道路公社に対し、たび重なる経営不振への追求を行った。  
その後 H22.2.15 松沢知事により、県道路公社にかわり、旧道路公団が行うとする、上記スマート IC 制度活用への方針転換の説明がなされた。  
これに伴い、神奈川県道路公社の綾瀬 IC 事業着手による延命は断たれることになる。



A answer

ETC から東名高速道路までは、旧道路公団 (ネクスコ) で整備されることが検討される。つまり、国主導になる。